



『おいもができた』
監修：馬場 隆
写真撮影：榎本 功
出版社：ひさかた
チャイルド

大好き！絵本

初瀬 恵美



朝晩と冷え込むようになりましたね。そして、季節は実りの秋となりました。保育園でも柿や落花生、さつまいもなどが収穫を迎えます。先日は間引いた人参の天ぷらや畑で収穫したかぼちゃがハロウインのグラタンとして昼食に出て、子どもたちは大喜びでした！

さて、今月は畑ですくすくと育っているであろうさつまいもをテーマにした絵本『おいもができた』をご紹介しますと思います。

この絵本は月間絵本「サンチャイルド・ビッグサイエンス」1999年度10月号「おいもができた」(チャイルド本社刊)をハードカバー化したものです。写真によりお話しが構成されています。

苗づくりから収穫そして食べるまで、とても分かりやすい絵本となっています。そして、さつまいもを育てていても見ることができない土の中の様子までも写真で見ることができます。根っこがだんだん太く赤くなる様子など、貴重で面白い写真がいっぱいです。

先日4歳児の男の子と、この絵本を見ていたときのことです。「おいものめをきって、はたけのつちにうえるんだ。」と読んだとき「あ！これは、小さいけど、大きくなるんですよ。だってパパもみかんの苗植えるときは、小さいけど、大きくなるもん！」と体で大きさを表現しながら教えてくれました。きっと普段から、お父さんのみかんのお仕事を興味をもってきているんだろうなと想像できました。あと数週間で畑のお芋も収穫の時期です。おいしく、大きく育っていますように！



誕生日おめでとう

